

学校経営方針

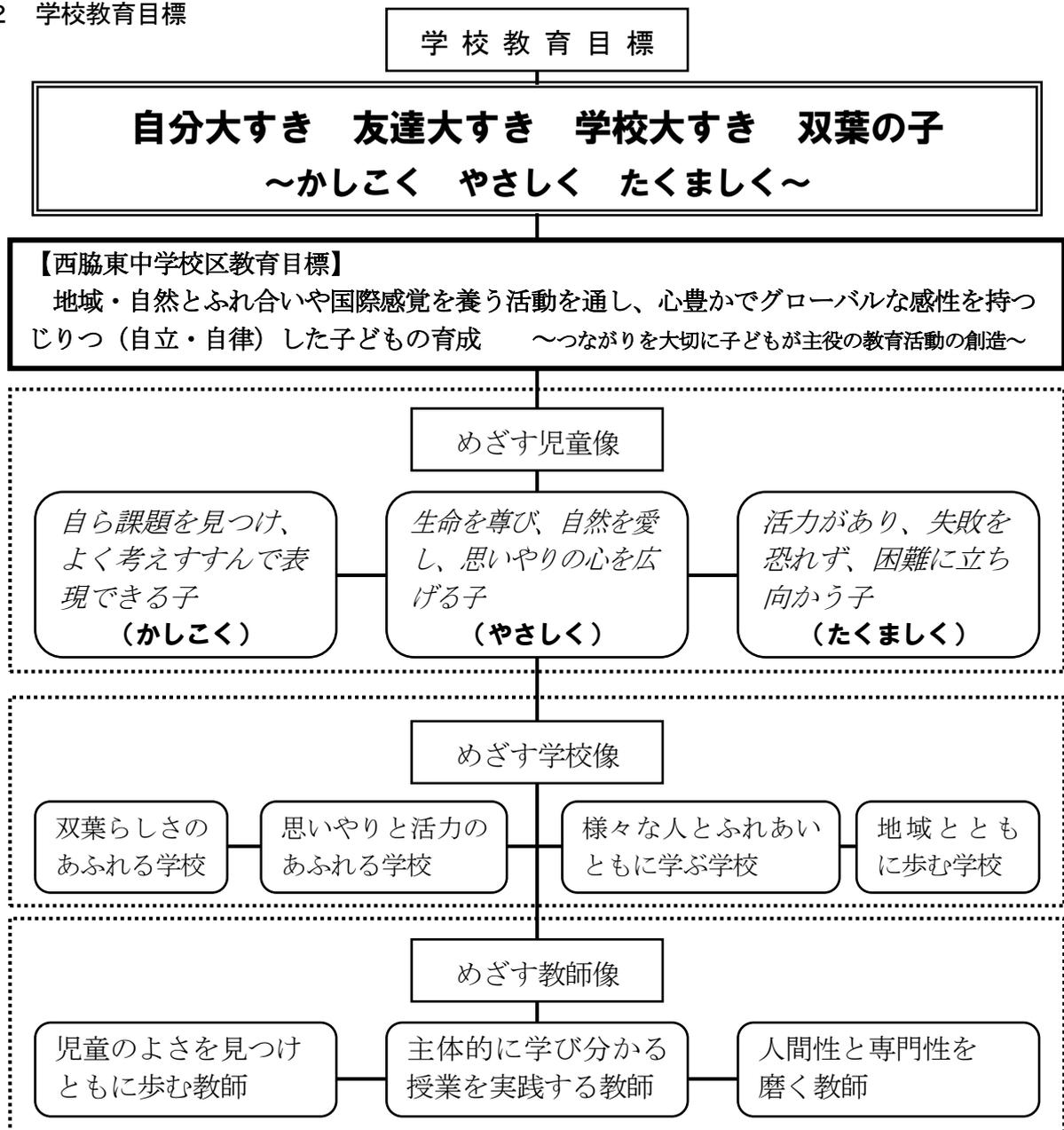
令和7年4月

西脇市立双葉小学校

1 学校経営の基本理念

- (1) 確かな学力と豊かな心、健やかな体において調和のとれた「生きる力」を育む営みを、教職員の英知を集め、取り組む。
- (2) 教職員のチームワークと自己研鑽により、児童一人一人の興味や関心、発達や学習上の課題を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を推進する。
- (3) 本校の特色である保護者や地域との強い連携のもと、小規模特認校という利点を最大限に生かし、「双葉でしかできない教育」「オンリーワンの教育」を創造する。
- (4) 「㊦ ㊧ ㊨」を合言葉に、「双葉っ子 学びの十か条」の見える化を図り、日々の生活や学習などを振り返るとともに、夢や目標を持ち、主体的・能動的に自立していく意思と未来への道を切り拓く力を児童に育てる。

2 学校教育目標



3 めざす学校像

(1) 双葉らしさのあふれる学校

- ・小規模校の特性を生かした濃密な少人数指導や個別指導を徹底するとともに、主体的・対話的学びにより、表現力・思考力・判断力を持った児童を育てる。
- ・着実な授業実践に加え、全校朗読会や学芸会、フリートーク、ノート検定等の取組を充実させ、確かな学力・対話力の向上をめざす。

(2) 思いやりと、活力のあふれる学校

- ・豊かな感動体験と自信が得られる活動場面づくりを通して、忍耐力、共感力、やり抜く力等の非認知能力を育成する。
- ・児童一人一人の特性を尊重し、自らの可能性を広げ、伸ばしていけるよう支援する。
- ・明るく仲良く集団生活を営む力を育て、互いを尊重する信頼関係を構築し、個々が未来への道を切り開く力を育むよう支援する。
- ・いじめ等を許さない、人権文化に満ちあふれた学校をめざす。

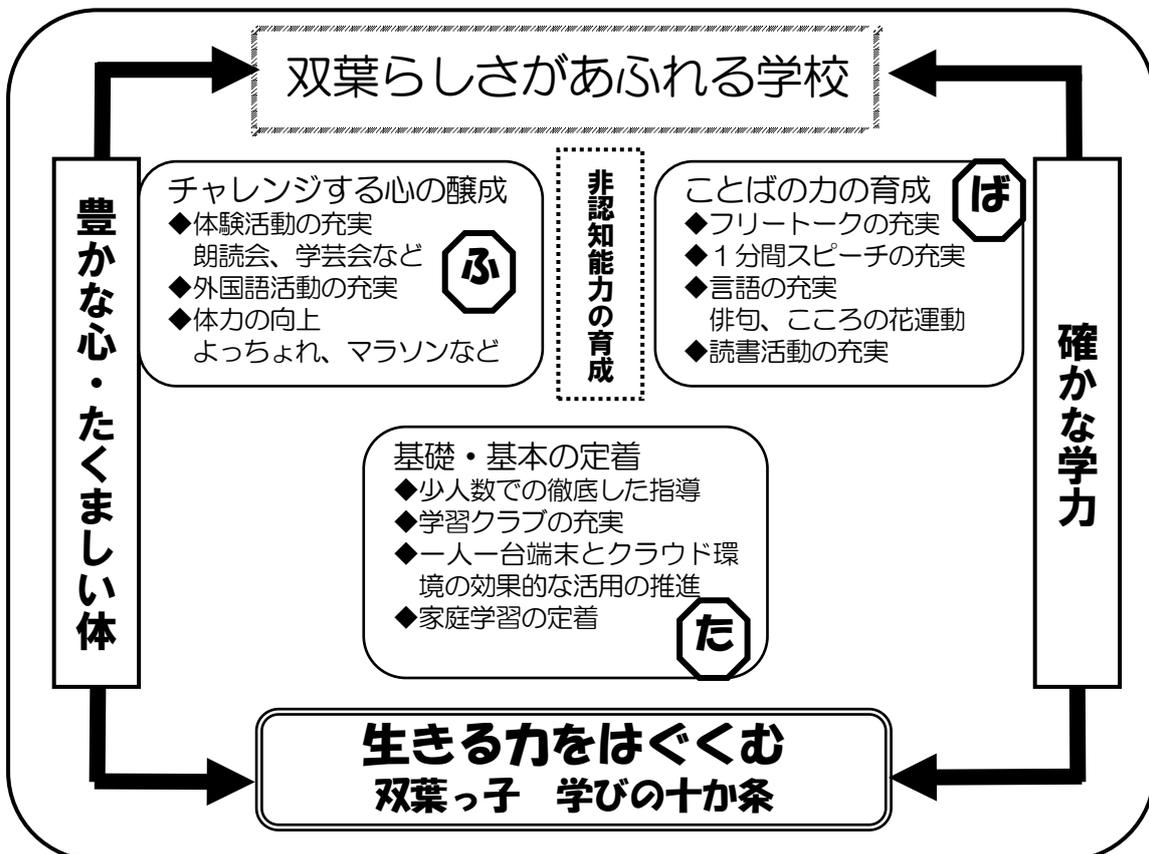
(3) 様々な人とふれあい、ともに学ぶ学校

- ・人間関係が固定化しないよう、様々な活動や交流を取り入れた豊かな人間関係づくりに努める。
- ・様々な人々（地域、校区連携校、他のへき地校、交流校）とのふれあいから、豊かな発想と多様な考えや学び方を育てる。

(4) 地域とともに歩む学校

- ・子どもたちを中心に据え、学校・家庭・地域の相互理解・連携することにより、持っている多様な教育力を存分に発揮できる円滑な関係づくりに努める。
- ・家庭や地域の願いを大切に、諸課題に真摯に応えていく。

4 本年度の重点努力目標



〔合言葉「ふ た ほ」〕

『ふ ファイトでチャレンジ あきらめません』

『た たくましく 心と体と頭をきたえます』

『ほ はっきり はきはき 話します』

〔双葉っ子 学びの十か条〕

- ① 早寝早起き朝ごはん
- ② 人より先に笑顔であいさつ
- ③ 人の役に立つ私
- ④ 机や部屋の整理整頓
- ⑤ 正しい姿勢、正しい言葉遣い
- ⑥ いつも心がけるていねいな字
- ⑦ めあてをもって家庭学習
- ⑧ 毎日続ける読書の習慣
- ⑨ 語尾まではっきり自分の考え
- ⑩ 頭とところと体を鍛える子



5 本年度の具体策等

①確かな学力の育成

- 一人一人のつまずきの解消や系統性を重視した指導の充実
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、対話のある授業の充実を目指した授業改善の促進
- 放課後学習支援等を活用した学力向上の取組の推進
- 双葉っ子学びの十か条を活用した、学習生活基盤の形成
- 家庭学習習慣の定着と自主学習への意欲向上を目指した取組の推進

②生きる力を育む学習の展開

- 特別活動を要とした教育活動全体を通じたキャリア教育の推進
- 保護者・地域の方々と連携し、社会に参画する機会の充実

③豊かな心の育成

- 自分を大切にするとともに互いを思いやり、他者を尊重できる人間関係づくり
- 他者や自己との対話による道徳の授業の推進
- 様々な体験活動を取り入れた、主体的・実践的な人権学習の実施

④健やかな体の育成

- 運動の楽しさや喜びを体感させる授業づくり(サーキットトレーニングの継続)

○食に関する正しい知識の習得(食育指導の充実)と望ましい食生活の定着

⑤課題教育

- 地域の人材や自然・風土をいかした環境学習素材の活用
- 地域と連携し、起こりうる災害に備える防災対策の構築

⑥心の通った生活・生徒指導

- 児童理解を基盤とし、個々の特性や発達段階に応じた指導
- いじめ、不登校、児童虐待の積極的認知と未然防止・早期発見・早期対応(チームで、即日対応、即日家庭連絡)に向けた報告・連絡・相談・記録の徹底
- 地域等と連携した学校安全の推進

⑦特別支援教育の充実

- 発達障害を含めた個々の特性に合わせたきめ細かく適切な教育支援
- 個別の支援計画作成、サポートファイル普及による一貫性ある支援の構築
- コーディネータを中心にした、定期的な支援委員会の開催による共通認識

⑧学校・家庭・地域の連携の促進

- 双葉ならではの自然環境における、達成感や自己有用感を高める体験活動の推進
- 地域の一員である自覚と地域活動に参画する態度の育成
- 一人一台端末とクラウド環境を効果的に活用した、協働的な学びの推進と情報モラルに関する指導の充実
- 双葉を考える会における、今後の学校と地域の連携推進

⑨組織運営・教職員資質・指導力向上・勤務の適正化対応

- チーム双葉として、言語活動を中心とした研究体制の推進
- 温かくゆとりある心で児童と向き合う特別活動(学級活動)の確立
- 教職員のライフワークバランスが図れるよう、組織環境の改善と業務の効率化の推進

⑩言語活動の充実

- フリートーク、全校スピーチ、朗読会・学芸会、音読集会、ノート検定等を活用した双葉独自の言語活動の推進
- 外国語(英語)・外国語活動によるコミュニケーション能力の育成
- 知識を広げ、思考を深めるとともに感性を豊かにする読書活動のさらなる推進

⑪小規模特認校としての取組

- 双葉の特徴(きめ細やかな指導、体験活動、言語活動)をいかした取組の立案・実施
- 安全な通学バスの運行

小規模特任制度とは

自然豊かな環境に恵まれ、特色ある教育を推進する小規模校に、市内全域から通学を認める制度です。